

# 北斗 第3号

## この1年を振り返って

2021年2月20日  
東京北斗会  
発行

### 令和3年東京北斗会ご挨拶

東京北斗会 会長 佐藤 則道



令和3年の早春を迎え会員の皆様におかれましてはご健勝の事とお慶び申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスの地球規模の流行という人類共通の災禍に直面した年でした。しかも、このやっかいな感染症との戦いは本年以降もまだまだ続くでしょう。

この一年で我々の日常の生活も大きく様変わりしました。人と人を結ぶ交流が出来なくなり、あらゆる催し物が中止に迫りやられ、東京北斗会の年間行事も全て中止となりました。ふるさと連合会を始めとした近隣ふるさと会との交流も行われず、会員相互の親睦も止まったままの状態です。

会員の皆様もこの年末年始は静かに自宅で過ごす方が多かったものと思われまふ。私も年頭にあたり、今年で27年目を迎える東京北斗会の歩みを振り返り、また、これからのふるさと会の在り方に思いを

馳せてみました。

東京ふるさと会の創立は平成7年です。初代相馬会長が創立時に作成された会報に「郷愁とは、ふるさとを遠く離れて初めて実感するもの、ましてや無情のドラの音に未練のテープを切られた連絡船の別れの思い出をもつ者にとっては、その郷愁は一入なものがある」と述べておられます。私もこの文章に共感している一人です。先輩達はその熱い想いを胸に秘めて発会式には130余名が参加されたのですね。

時代が進んだ昨今は、いつでも瞬時にテレビ電話やメールがつながり、気軽に電車で日帰りも出来る今日になりました。ともすれば、直ぐ隣で生活して居る様な錯覚にさえなります。ふるさとを想う気持ちも、時代とともに移り変わる事は当然のことです。

さて、これからのふるさと会の在り方について考える時、時代が急激に変化している事を念頭に、デジタル化時代に相応しい若い人に委ねなければならないと考えます。新しい若い発想が若い会員を呼び集めるものと思ひます。

相馬会長は磯の香り創刊号の結びに、「会を魅力あるものとするために、会員皆で力を合わせて会が発展することを期待する」と閉じています。私達はその意を引き継ぎ27年目を迎えました。本年も会員が一同に会する機会は難しいと思ひれまふが、会員、幹事の皆様の協力のもと共に歩んで行きましょ。どうぞ宜しくお願ひ申し上げます。北斗市が永遠である様に東京北斗会も永遠です。

末文になりますが、池田市長様、北斗市役所の皆様、中井市議会議長様、宮崎商工会会長様、金澤観光協会会長様、いつも会の運営にご協力ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。また、本誌広告にご賛同賜りました皆様にも、この場をお借りしてお礼申し上げます。

## ふるさと北斗市から

# 新型コロナウイルスを乗り越えて

北斗市長 池田 達雄

寒さが厳しき折、東京北斗会の皆様におかれましては、ますますご健勝のことと存じ上げます。

また、日ごろから市政各般にわたり深いご理解と温かなご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年、全世界で猛威を振るった新型コロナウイルス感染症は、いまだ衰えを知らず、我が国では、昨年11月以降、再び新規感染者数の増加傾向が強まり、政府からは再度の緊急事態宣言が発出される厳しい状況となっております。

本市におきましては、これまで、「新しい生活様式」のもと感染予防対策を徹底するとともに、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている市民や事業者の皆様に必要な支援を行ってまいりましたが、本年1月14日以降、市内介護施設で複数のクラスターが発生するという新たな局面に入ったことから、渡島保健所とともに対策本部を設置し、介護事業の継続に向けた対応にもあたっているところでございます。

今後は、新型コロナウイルスワクチンの接種に向けた体制に万全を期すことで、感染拡大の防止を図るとともに、正しい情報に基づいた的確な広報・注意喚起を行うことで、感染者やその家族、医療関係者等の方々への、いわれのない偏見や差別、心ない誹謗中傷を防止し、市民の皆様と一丸となって、この危機を乗り越えていきたいと考えております。

昨年は新型コロナウイルス感染症への対応に追われた一年となりましたが、年末には、本市出身である阿部剣友選手の読売ジャイアンツへの入団、澤田将選手のFC琉球への入団など明るい話題ももたらされており、プロスポーツ選手の誕生は、本市の子どもたちにとって大きな希望・目標でございます。

本年は、延期されていた東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催が控えており、新型コロナウイルス感染症の収束を願うばかりでございますが、本市におきましては、SDGsの理念を基本方針に位置付けた第2期総合戦略に基づき、本来、最優先に取り組むべき少子高齢化及び人口減少問題、さらには新函館北斗駅前の賑わい創出や企業誘致の推進、防災体制の確立、社会保障や教育、産業振興など、引き続き市政運営に邁進してまいりますので、市政各般に対しまして力強いご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

最後になりますが、東京北斗会のますますのご発展と会員皆様方のご健勝をお祈りいたしまして、私からのごあいさつといたします。



一般社団法人

## 北斗市観光協会

会長 金澤 賢一

副会長 佐久間 憲一 佐藤 敏彦 他役員一同

住所: 北斗市市渡1-1-7

TEL : 0138-77-5011

FAX : 0138-77-5012

<http://hokutoinfo.com>

## 北斗市商工会

会長 宮崎 高志

副会長 渡辺 晃男 長川 勉

住所: 北斗市飯生3-4-1

TEL : 0138-73-2408

FAX : 0138-73-2474

<http://hokuto-sci.jp/>

## ふるさと北斗市から

### 北斗市の吹奏楽の様子

北斗市吹奏楽連絡協議会 会長

北斗市立谷川小学校 校長

上磯吹奏楽団

副団長

福井 博志



北斗市では「音楽のまち・ほくと」を掲げ、様々な取組が展開されています。その中で、特に吹奏楽が盛んであることをお伝えしたいと思います。

昭和30年代から全国的に中学校や高校に吹奏楽部が作られ始めました。昭和39年、上磯中学校に吹奏楽部が創部されました。その後、昭和50年代になると、鼓笛隊があった小学校では金管バンドや吹奏楽部へ編成を変えていきました。上磯小学校は昭和56年の創部と記録があります。

私は谷川小学校で鼓笛隊の経験がありましたが、昭和50年に上磯中学校に進学した際、吹奏楽部に入部しました。当時、道南で吹奏楽の演奏会が行われるのは「函館市民会館」でした。毎年8月に函館市内の高校の演奏会があり、国鉄に乗り、市電に乗り換え、カセットレコーダーを持ち込み録音して帰ってきたのが思い出です。当時は、録音もOKでのんびりした時代でした。函館市民会館のステージに立つのは、吹奏楽祭と吹奏楽コンクールの1年に2回だけであり、緊張の連続でした。その後、地元の高校・大学に進む頃には上磯町の小学校・中学校・高校にも吹奏楽部が増え始めました。平成3年に社会人団体の上磯吹奏楽団が結成され、吹奏楽経験者や吹奏楽部顧問が入団し、音楽を通じた輪が広がっていきました。さらに有り難いことに、平成8年に上磯中学校跡地に総合文化センター「かなで〜る」が完成し、大型打楽器などが備え付けられるという恵まれた環境になりました。

北斗市の学校や団体は、「かなで〜る」での練習や大型打楽器の使用に便宜を図っていただいています。また、楽器の修理や購入・遠征の際には金銭的にバックアップがあり、北斗市の各団体は確実に演奏技術を上げていきました。

吹奏楽の全道大会・全国大会・（小編成の学校を対象とした）東日本学校吹奏楽大会に、数多くの学校が出演し、素晴らしい演奏を披露しています。また、北海道新幹線が開業してからは、新函館北斗駅にて市内の各吹奏楽団がオータムコンサートと題して、おもてなしのステージを繰り広げることができました。

令和2年は新型コロナウイルスの影響で全国的に吹奏楽の活動が縮小・中止となりました。その際、北斗市では密を避けるために「かなで〜る」の使用についてご配慮いただきました。市内の各団体は北斗市や関係者の皆様、地域の方々から温かいご支援をいただいています。これらの御恩を無駄にせず、「音楽のまち・ほくと」「吹奏楽が盛んな街」になるよう、北斗市を盛り上げていきたいと思っています。



## ふるさと北斗市から

今だからできること

大切なふるさとを守るために

北斗市町会連合会 会長 大折 伸明

昨年の4月、田畑前会長からバトンを受け継ぎ、第8期北斗市町会連合会会長の任を仰せつかることとなりました。なれない役職ではございますが、選任されました以上、みなさまのご支援を賜りながらこの大役に取り組んで参りたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

これまで町会連合会では、地域コミュニティの中核を担う役割を果たすべく、地域の文化や慣習を尊重しながら融合し、市民の融和を図ってきたところでございます。

しかし、今現在、日本のみならず全世界が新型コロナウイルスの感染拡大によってあらゆることに影響が及んでおり、これまでに経験したことの無い状況となっております。

少子高齢化の進行とともに社会全般の連帯感が希薄になり、住民の価値観や生活形態が大きく変貌する中、地域の問題をその地域で解決する仕組みづくりなど、行政と一体となった「協働のまちづくり」が求められているなか、各自治会・町内会はもちろんのこと、連合会事業実施の見通しが立たず、以前のような活動がままならなくなっているのが現状であります。

当面は各事業の実施が不透明であることは否めませんが、このような状況の中で、コミュニケーションのあり方について、様々な視点から今一度考えなおしてみるチャンスととらえ、更なるコミュニケーションと向上を目指した活動に努めてまいりたいと思っております。

みなさまの大切な「ふるさと」の良さを守り続けるためにも、「思いやり」や「ふれあい」、人と人との「つながり」を大切に、魅力と活気あふれるまちづくりに向け、何とかこの難局を乗り越えてまいりたいと思っております。

結びになりますが、1日も早い新型コロナウイルスの終息を願い、東京北斗会のますますのご発展と、会員みなさまのご健勝並びにご多幸をお祈りして、ふるさとからのお便りとさせていただきます。



総合建設業

株式会社 金澤組

代表取締役 金澤 賢一

住所: 北斗市桜岱18-6

TEL : 0138-73-3635

FAX : 0138-73-7850

北海道新聞 日本経済新聞

有限会社 宮崎新聞販売所

代表取締役 宮崎 浩憲

住所: 北斗市飯生1-12-1

TEL : 0138-73-2228

FAX : 0138-73-1781

## 第25回 総会・懇親会



2019年10月19日、「アルカディア市ヶ谷」(私学会館)において、第25回総会・懇親会を開催しました。ご招待者10名、会員・同伴者68名、特別参加1名、総数79名の出席がありました。

# 第25回 総会・懇親会



# 第25回 総会・懇親会



# 忘年会



2019年12月7日、喜山倶楽部（きざんくらぶ）において、恒例になった忘年会を行いました。25名の参加がありました。喜山倶楽部は会として初めて利用したところで、道に迷った方もいらっしゃいましたが、料理やサービスが良く、皆さんに楽しんでいただけたと思います。

# 忘年会



# 谷川 第5回 ジンギスカンの会



2020年1月25日、「谷川小学校」出身者と有志が「サッポロビール千葉工場」で「ジンギスカン」を味わい、その後「ピアノサロン REPEAT」へ行ってカラオケを楽しみました。



2019年11月3日に、茂辺地川で開催された行事です。さけ鍋の無料ふるまいや、特設プールで元気に泳ぐさけのつかみどりのほか、さけなどの海産物の販売、北斗市の特産品が当たる抽選会、ステージショーなどが行われたそうです。



「北斗紅葉回廊（ほくともみじかいろう）」は、今年度初開催の行事で新型コロナウイルス感染症予防対策を施した事業として実施したそうです。

11月3日までの12日間で8,751名の来場があり、予想以上の賑わいとなって、特に夜間ライトアップされ湖面に映る風景はととても幻想的と好評をいただいたそうです。

紅燃ゆる幻想の夜

北斗紅葉回廊が  
八郎沼公園を会場に今秋初開催！

八郎沼公園は11ヘクタール広大な敷地に  
カエデやツツジ、桜など約二千本の木々があります。  
その自然豊かな木々をライトアップし、  
新たな紅葉観賞イベントとして開催します。  
水面に映るライトアップされた紅葉は幻想的で、  
見るものに心に感動をあたえるはずです。



2020.10.23金 ▶ 11.8日

### コロナ禍の中で

船橋市在住(峯朗出身) 石川 誠一

師走に入り、寒い毎日が続いています。寒波の影響による大雪で立ち往生の車が沢山出ているようです。コロナ感染者多数で外出自粛中に加えてこの寒さで、増々巣籠りの生活が続きます。

今年は色々な事があり、何とも慌ただしい一年でした。一番の出来事は、母が亡くなったことです。6月20日94歳でした。デイサービスから病院に救急車で運ばれ、約半月程の入院で急性腎障害でした。コロナで他県への外出解除の19日を待っていたかの様でした。見舞いも面会10分足らずでままならず、それまでも骨折しては入院・リハビリと、ず〜っと介護をしてくれた妹には感謝しかありません。母は小樽生まれで生来活発な人でした。札幌市の手稲鉦山に勤務し両親は職場結婚でした。手稲鉦山閉山による斡旋で何組かの家族と共に峯朗に移住しました。一人娘でしたので祖父母も一緒でした。以来、幼稚園や小学校のPTA、婦人会、又、運動会、スキー大会、演芸会の度に峯朗中を動き回っていました。スケートと卓球が得意な母でした。昭和36年に峯朗が廃村・小学校も廃校となりました。谷好の社宅に下りてからも函館の水産加工場でアルバイト、そして町内会や老人会のミニバレーにゲートボールと元気にしておりました。

そんな母と峯朗時代の事を懐かしく思い出しながらのコロナ自粛の日々、NHK朝ドラ「エール」にハマリ、昭和歌謡にハマリすっかりTV漬けの毎日になってしまいました。結果は、糖尿の数値は悪くなり、視力は落ちたり碌な事はありません。そんな中、昭和偉人伝というBS朝日のTV番組で、三橋美智也特集を見ていた時の事です、峯朗の風景写真が出身地として出てきたのにはビックリしました。日本セメント上磯工場の組合機関誌「北扇」創業百周年記念号に特集として掲載されていたものでした。写真の撮影者は、峯朗鉦山に勤務していた伊藤亀治さん、昭和30年代前半の時代と聞きます。当時は峯朗も三橋美智也も全盛期、若かった母も一番良かった頃の風景かと、改めて感慨に耽りました。

船橋の我が家からはウォーキングのコースもあっちこっちと選べますが、お気に入りには近くの海老川の遊歩道です。上流には老人施設「なつみの郷」、下流には市立船橋高校がありますが、どちらもコロナクラスターで大変です。「どっちに行こうか♪どうすりゃいいのさ思案橋〜」っと、昭和歌謡を口ずさんでしまいます。

来る年に向けて、この何とも悩ましいコロナ禍が終息に向かいます様にと願う師走の近頃です。  
(令和2年 12月 20日)



昭和30年代前半の峯朗の全景

## 会員からの寄稿

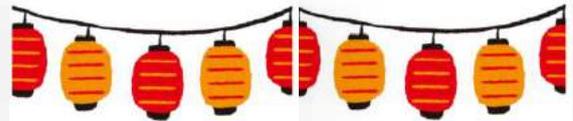
沖川 高橋 牧子



北斗会の皆様、2021年、今年も宜しくお願い致します。  
毎年北斗会での集まりを楽しみにしていましたが、昨年から引き続き今年もコロナ禍で、日本だけではなく世界中でコロナに脅かされております。  
人生今まで経験した事のないウイルスに翻弄されています。  
人為的ではなく、どこに居るのかわからない、目にも見えない物に、知らない間に、このコロナ菌に好かれて、時には命に関わる事もあるという…考えるだけでも怖いですね。一日も早く日常生活に戻れて、早く安心して外出が出来る様になると良いですね。  
今は北斗市でもコロナ患者が出ているとの事でした。  
皆で、三密を守り少しでも早く終息して、今年こそ北斗会が開催され、その日は元気に参加出来、そして皆様とお会いできます事を楽しみにしております。

(2021年1月29日)

## 東京北斗会 役員から



### コロナ禍の自粛で思う

東京北斗会幹事 武井 満野子



20歳で上京し早58年、東京上磯会に入会し峯朗の幹事を引き受けて16年、神田の私の店で幹事会をやっていた時もありました。懐かしく思い出されます。男の方の幹事さんは行事のある時は大変でしたネー。私は参加するだけで、なんのお役に立てずに心苦しい事もありました。

まだまだとと思っていましたが年齢と共に足腰も弱くなり、この頃はエレベーターやエスカレーターのお世話になる事が多くなって来ました。

幹事の皆様は気持ちの良い方ばかりに甘え、ズルズルと今日まで来てしまいました。そろそろ幹事役員の辞退を考える様になりました……？

今年は新型コロナウイルスの感染拡大に始まり終息が見えず、例年とは異なる対応が多い一年となりました。この情勢下かろうじて無事に乗り切る事が出来ました事に喜びを感じます。一日も早くワクチン接種が可能になり、景気回復に伴う年になる事を願っております。来年こそ皆さんと花見会や旅行会が出来ると良いですねー！

結びに当り、丑年は「発展の前触れ」を表す年とも言われています。

東京北斗会の益々の発展と皆様のご健勝を心から祈念致します。

(2020年12月25日 東京墨田区在住 峯朗出身)

## 会員だより

会費振込用紙に書いて送っていただいた会員の皆様のお便りを紹介します。

- ★ 「幹事の皆さん、ありがとうございます。」 峯朗 岩山真一
- ★ 「皆様お大事に、ウチでコロナの時代を上手に生きて行きましょう。」 石別 矢澤弥生
- ★ 「こんにちは、コロナに負けず元気に頑張っています。」 茂辺地 大野洋子
- ★ 「毎度お世話になります。」 上磯 松田有司
- ★ 「皆様と会えないのが残念です。」 上磯 小松直樹
- ★ 「役員、幹事の皆様ありがとうございます。」 谷川 永塚津江子
- ★ 「住所変更しました。よろしくお願ひ致します。」 茂辺地 佐藤たい子
- ★ 「お手数をおかけいたしますが、今期で退会の手続きお願ひ致します。色々有難うございました。」 茂辺地 加藤和子
- ★ 「都合により、北斗会は脱会させていただきます。腰の調子があまり良くなって、北斗会の皆様のご健康をお祈りしています。」 茂辺地 高橋昭則
- ★ 「いつもご苦労さまです。増々のご健勝をお祈り致します。」 峯朗 石川誠一
- ★ 「昨年の会費をお支払いするのを忘れていました。大変申し訳ございませんでした。」 茂辺地 横田元子
- ★ 「来年は元気な姿で皆様と逢えるよう、今年は新型コロナウイルスに感染しないよう3密を守り実行したいと思っております。」 茂辺地 辻田康治
- ★ 「家族共々元気にすごしております。」 久根別 大島大介
- ★ 「取り敢えず元気です。」 峯朗 簡和弘
- ★ 「2020. 10. 30には横浜市港南区日野中央の住所に帰ります。宜しくお願ひします。」 谷川 斎藤清信
- ★ 「谷杉さん、色々お世話様になります。早く静かな世の中になって、皆様にお逢いしたいですね。」 浜分 藤田幸
- ★ 「今回を持って退会させていただきます。」 茂辺地 高橋幸夫

### コロナ禍後の東京北斗会運営について

東京北斗会 副会長 池田 喜久雄

北斗会会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

私、行事関係を担当している茂辺地出身の池田と申します。東京北斗会について、行事含め少々おさらいいたします。

平成7年東京上磯会としてスタートし、今年で創立27年となります。会員数は約200名、行事としては、春花見会、5月日帰り又は1泊旅行、7月納涼会、10月総会、12月忘年会、幹事会は約2ヵ月に1度という形で開催しており、総会は北斗市より市長、商工会会長などに出席いただき80名前後で他行事は30名ほど参加します。但し昨年はコロナ禍により、春からの行事、10月総会と全て中止となっており、すみやかなる終息を祈るばかりです。幹事会はリモートにて開催しております。



当会も高齢化がすすんでおり、会員も徐々に減少しておりますが、そもそもふるさと会は年齢が増してより、郷里への思いが募って語る場所でノスタルジアそのものなので高齢化は当然かなと思います。現役バリバリの頃は感じなくても、ある程度の年齢になった時にふと、ふるさとを思った時に集う場所と考えております。しかし高齢などで退会者がでて、新規会員がなければ会としては衰退していきます。以前札幌上磯会がありましたが、現在は存続してなく、当会としてもそうならないよういろいろ幹事会で議論をしております。

そのような中で、コロナ禍もいずれは終息するでしょうし、コロナ禍後をみすえた方策を考えており、あくまで個人的な意見ですが4点あります。

- ①現在会員は北斗市出身者及びその関係者としておりますが、これを北斗市出身者及び北斗市に滞在した方や関係してなくとも関心ある方などに広げる案です。ふるさと出身者でも全く関心ない方もいますし、関東の方でも北斗市に関心ある方はいます。例えば太平洋セメント様関係者で数多くの方が勤務した経験があると聞いております。そのような方々に幅広く間口を広げて、いろいろな行事に参加いただき会の発展を考えています。
- ②マスコミとの関係の強化に努めます。北斗会の知名度は北斗出身者にもまだまだだと思います。まずは知名度を上げる為にマスコミと関係を強化し、出身者が帰郷した際に話題になるよう努めていきたいと考えます。
- ③北斗市役所との連携を更に強化します。従来より連携には努めておりますが、さらにギアアップしたいと考えます。現状はコロナ禍で北斗市の関東でのイベントは中止しておりますが、今後は移住者などへのプレゼンも復活するでしょうから、そのようイベントの集客に更に尽力し、市役所に協力していきたいと考えます。
- ④財政を豊かにしていきたいと考えます。当然のことながら、財政に余裕がなければ実行力が伴わなくなります。北斗市在住の企業と接触し、関東への販売に関心があれば情報提供し関係を深めていきたいと思っております。それにより企業の法人会員化をすすめ、併せて個人から寄付なども募ることで財政に余裕をもたせていきたいと考えます。

昨年は逆風が吹きましたが、この時期に会員増加の基礎固めをして、数年後には更に多くの会員方々と酒を酌み交わせるようすすめたいと思っております。幹事会は11月よりリモートで通常開催し幹事各位でいろいろ議論しております。新任の幹事もこの度3名就任していただき、さらに北斗会を活性化していきたいと考えますので、何卒ご理解、ご協力のほどお願い申し上げます。

北斗会会員の皆様のますますのご活躍をお祈り申し上げます。

## 東京北斗会 新幹事の紹介

### 東京北斗会 幹事 池田 均

2020年1月より、東京北斗会の幹事になりました池田均（いけだひとし）です。上磯小学校を昭和42年に卒業しました。

（事務局の外山幸雄さんとは同級生です。）実家は大工川1丁目なのですが、生まれは峯朗です。ですから幹事の簡さん、武井さんや峯朗小学校を卒業した方々とお会いできて、とても嬉しいです。（実家では92歳になる母が元気です。）

これからは幹事として、先輩幹事諸氏の足を引っ張らないように頑張ろうと思います。よろしくお願いします。

ところで、昨年5月から「オカメインコ」を飼っています。

3月生まれの子で「かめちゃん」と名付けました。ほぼ毎日、朝と夕方1時間ほど放鳥しています。そして、日々癒やされています。（写真参照）

皆様、コロナ禍で大変でしょうが、お身体を大事にしましょう。またいつか、笑顔でお会いできるように、元気で過ごしましょう。

よろしくお願いします。



## 東京北斗会 新幹事の紹介

### 東京北斗会 幹事 山田 道夫

昨年10月より、東京北斗会の幹事をさせて頂いています山田道夫です。半世紀以上も前の東京オリンピックが終了した翌年の昭和40年に石別中学校を卒業しました。

これから幹事として微力ながら東京北斗会の発展に尽くしていく所存でございます。どうぞ宜しくご指導の程お願い致します。

私は、5年前、43年間の教員生活を終え、現在北区シルバー人材センターの運営に理事として携わっております。前年、シルバー人材センターの創立40周年記念誌の寄稿文を載せて頂きます。

私のささやかな楽しみ

数年前から家庭菜園を始めている。定年後に憧れていた晴耕雨読に近い生活を送っている。春の土作りから種蒔き、畝作りと多くの野菜作りの書籍を参考にしたり、農園の隣人達のアドバイスを頂いて、試行錯誤しながらも自然栽培を楽しんでいる。夏野菜の胡瓜、茄子、トマト等無農薬で育てるため病害虫との闘いの日々である。青虫を手で取り除いたりするが、多少虫喰いの方が安全、安心できる旬の旨い作物だと自負している。収穫の喜びは格別なものであるが、農地を耕し苗を植え肥料を施し、支柱を立てる一連の作業が大切だ。植物の成長を観察し、無数の虫や鳥達と限られた空間で共に過ごす時間が私の癒しとなっている。秋には畑の片隅に植えてある菊の苗がどのような花を咲かせてくれるのかも楽しみである。菊の花といえば十数年前の卒業生の結婚披露宴でのスピーチを想い出す。



「菊作り、花咲く時は陰の人」

「菊根分け、今日から自分の土で咲け」

コロナ禍で大変な毎日、皆様の健康を祈念しコロナが一日も早く終息に向かいますよう願っております。



## 東京北斗会 新幹事の紹介

### 東京北斗会 幹事 村元 誠

都内のマンション開発会社に勤務しております村元誠と申します。  
1961年（丑年）生まれの今年60歳になり、渋谷区に在住しております。  
父方は谷好の出身（元々は青森県黒石から入植者）で、父親は上磯消防署に勤務しておりました。

北斗会に入会したきっかけは一昨年その父親（2019年9月88歳で他界）が体調を崩し入院した時、介護保険の手続き等で北斗市役所へ行った折り、たまたま訪ねて行った上磯中学校の同級生だった総務部長の出口さんと当時経済部長だった浜谷さん（卒業以来）の紹介で入会させていただきました。

実家は、同じく幹事になられました池田さんと同じ大工川1丁目（池田さんの実家から1分程）で弟さんには遊んで頂いた記憶があり懐かしく思います。又、会計担当の谷杉さんとは母方の親戚になります。

上磯中学校では吹奏楽部（パートはサクソ）でしたが近年の後輩の皆さんの活躍には大変！！驚いています。（指導されている先生方もとても素晴らしい指導者だと思います。）（当時はBクラスの35人編成で函館地区コンクールでは銀賞が精一杯だったと思います。）結局、私も高校、大学と吹奏楽を続けることになりました。（幸いにも大学の時一度だけ東京都代表で全国大会に出場することが出来ました。結果は残念ながら銀賞。）

今後は、まだ分かりませんが実家には母親もおり東京と北斗市で行ったり来たりになることもありますので、その時は地元と皆様方のお役にたてるよう頑張っていきたいと思っております。今後ともご指導の程、宜しくお願いします。

又、一月に入り東京でもコロナ禍第三波の影響で桁違いの感染者数となっています。早急なコロナ収束を祈り皆様と笑顔でお会いすることを楽しみにしております。

2021/01/12



田んぼアート



道南いさりび鉄道

シリコン100%・高性能無機塗料  
ガードペイントが創る

インフラ100年強靱化補修

国交省 NETIS:HK190003-A

日東通商株式会社

<https://nitoh-t.jp/>

Tel 050-3417-9436 Fax 03-5490-0502

<創立37周年>総合不動産業  
三蔵住建株式会社

取締役社長 佐藤 則道

[東京北斗会 会長]

[北斗市ふるさと親善大使]

東京都新宿区西新宿 7-16-14  
ミクラ西新宿ビル4階

tel 03-3362-2121 ・ fax 03-3362-2051



# 東京北斗会のホームページ

<http://yuksoto.sakura.ne.jp/TokyoHokutoKai.html>



## 東京北斗会

[| 今後の予定](#) | [| 過去のできごと](#) | [| 会則](#) | [| 役員](#) | [| 入会申込み](#) | [| 北斗市のホームページ](#)  
[| 会報、広報、ニュース](#) | [| 写真](#) | [| 会員などのお店、会社](#) | [| コラム](#) | [| 会員名簿](#) |  
[| 北斗市HPの会の紹介](#) | [| 会長の挨拶](#) | [| インターネットからの会費納入](#) |

きじひき高原



法亀寺のしだれ桜



トラピスト修道院



「東京北斗会」は、東京都およびその近郊に住む北海道北斗市（旧上磯町と旧大野町出身者および関係者による「ふるさと会」です。

会員相互の交流と親睦を図ることを目的として、総会、懇親会、北斗市への協力活動などを行っています。

2016年3月26日に開業した北海道新幹線の「新函館北斗駅」は、ふるさと北海道**北斗市**にあります。 [北斗市観光ガイド](#) [北斗市観光情報](#)

石ざきホール 北 斗 石ざきホール 七重浜

創業100年 株式会社石崎公益社

代表取締役 石 崎 幸 男

住 所: 北斗市飯生1-9-5

TEL : 0138-73-3393

FAX : 0138-73-8020

<http://www.coa-plan.net/hokusou/hakodate/ishizaki/>

<開業15年>技術・経営コンサルタント業

外山技術士事務所

所長 外山幸雄

〔東京北斗会事務局〕

神奈川県茅ヶ崎市今宿580-9

tel 080-6570-3744

e-mail [yuksoto@gmail.com](mailto:yuksoto@gmail.com)

<http://www.yuksoto.sakura.ne.jp/>

## 「東京北斗会」 役員名簿

役 職	氏 名	出身小学校
会 長	佐藤 則道	谷 川
副 会 長	宮崎 里志	上 磯
副 会 長	池田 喜久雄	茂辺地
事務局長	宮崎 里志	上 磯
会計監査	簡 和弘	峯 朗
会 計	谷杉 栄策	浜 分
会 計	花木 瞳	沖 川
幹 事	武井 満野子	峯 朗
幹 事	長澤 久子	谷 川
幹 事	米田 正彦	大 野

役 職	氏 名	出身小学校
幹 事	星川 傑	上 磯
幹 事	池田 均	上 磯
幹 事	村元 誠	上 磯
幹 事	山田 道夫	石 別
事務局	松田 有司	上 磯
事務局	龍崎 千遙	石 別
事務局	外山 幸雄	上 磯
顧 問	池田 達雄	北斗市長
顧 問	郷内 繁	上 磯
相談役	佐藤 金也	茂辺地

## 「東京北斗会」 会則

1. 本会は「東京北斗会」と称し、事務所を会長宅（会長宅住所を記載）に置く。
2. 本会は東京都及び近郊在住の北海道北斗市出身者並びに関係者等をもって組織する。
3. 本会は会員相互の交流と親睦をはかり、併せて故郷の限りない発展に寄与する。
4. 本会は前項の目的を達成するために次の事業を行う。
  - (1) 集会の開催 (2) 会報の発行
  - (3) 会員名簿の作成
  - (4) その他本会の目的達成に必要な行事
5. 本会に次の役員を置く。
 

会長	1名	副会長	若干名
事務局長	1名	事務局	若干名
会計監査	1名	会計	2名
幹事	若干名		
6. 会長及び副会長、会計監査は幹事会において選出し、総会の承認を得る。事務局長・事務局・会計並びに幹事は会長が委嘱する。
7. 役員任期は2年とする。但し、再任は妨げない。
8. 集会は次の5種とする。
  - (1) 総会 (2) 臨時総会 (3) 懇親会
  - (4) 役員会 (5) 幹事会
9. 総会は毎年1回開催し、予算の審議並びに前年度の会務及び決算報告を行い、併せて重要事項を審議する。
10. 本会の経費は会費及び寄付金をもって充てる。
  - (1) 年会費は一人2,000円とする。
  - (2) 夫婦会員及び同一住所に住んでいる「親子・兄弟姉妹」の会員は一人分を徴収する。
11. 本会の会計年度は9月1日から8月31日迄とする。
12. 本会に新規入会するものは、所定の申込書に必要事項を記載し会長の承認を得るものとする。
13. 本会則は総会の決議により変更する事が出来る。
14. 本会則は平成7年10月1日より実施する。
15. 本会則は平成15年10月18日より改訂、実施する。
16. 本会則は平成20年10月18日より改訂、実施する。
17. 本会則は平成22年10月17日より改訂、実施する。
18. 本会則は平成24年10月27日より改訂、実施する。
19. 本会則は平成27年10月24日より改訂、実施する。
20. 本会則は平成29年10月21日より改訂、実施する。

以上